

プレハブ企業型生産と地域型生産の 融合システムはありうるか

参加無料

定員200名

開催日時 平成**22**年**2**月**23**日（火曜日）
13:30~17:00

開催場所 財団法人大阪科学技術センター 8階 中・小ホール

主催 (財)大阪科学技術センター「住宅産業フォーラム21」

温暖化や地球環境対策への意識の高まり、さらには人口減少時代を迎えて、フローからストックへの風がより強く吹くようになってきました。そして、住宅の長寿命化が求められ、また、在来木造住宅を中心に住宅産業の担い手を確保・育成する取り組みが様々な地域、団体で展開されるようになって来ました。

こうした中、住宅産業フォーラム21はプレハブ住宅メーカー、エネルギー供給事業体、総合建設会社、建築設計事務所、部品・部材供給メーカー、大学人など各界からの参加者で構成されており、まさに、自らが主体的に取り組むべき時にあるとの認識から、今年度は「住宅産業の今後のあり方」を年間の統一課題として活動してまいりました。そして、過去3回のフォーラムでは、「人口減少等に対応したこれからの住宅産業」やそれに関連して「住宅産業の再編」をテーマにそれぞれの立場や役割から議論してまいりました。

21年度の最後を飾るシンポジウムでは、国土交通省市街地住宅整備室長の伊藤明子さんをお招きし、基調講演「住宅・建築ビジネスの現在」をしていただき、また、本フォーラム21の座長の巽先生にご登壇いただき、「住宅産業のめざすべきところ」についてご示唆いただくことしております。また、その後には「プレハブ企業型生産と地域型生産の融合システムはありうるか」をテーマに、フォーラムメンバーと参加者が一体となって討論をさせていただきたいと考えております。

有益な示唆が得られるものと確信しておりますので、関係者の皆様には、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

	時間	プログラム	内容
	13:30~13:40 (10分)	主旨説明	住宅産業フォーラム21 副座長 柏原 士郎氏
第1部	13:40~14:30 (50分)	基調講演① (質疑含)	「住宅・建築ビジネスの現在」 国土交通省 住宅局 市街地建築課 市街地住宅整備室長 伊藤 明子氏
	14:30~15:20 (50分)	基調講演② (質疑含)	「住宅産業のめざすべきところ」 住宅産業フォーラム21 座長 巽 和夫氏
	15:20~15:35 (15分)	休憩	
第2部			「プレハブ企業型生産と地域型生産の 融合システムはありうるか」
	15:35~16:55 (80分)	討論	登壇者： 前田 雅信氏 (建築研究工房) 所 千夏氏 (アトリエCK) 伊丹絵美子氏 (香川大学) 司会： 古阪 秀三氏 (住宅産業フォーラム21 企画幹事)
	16:55~17:00 (5分)	まとめと挨拶	企画幹事 大森 敏江氏